

日吉東照宮

日吉大社は、徳川幕府を開いた徳川家康（1543-1616）を神格化した東照大権現を祀っている。東照大権現は、1868 年まで日吉大社と密接な関係にあった延暦寺の総鎮守である。延暦寺は、日本における天台宗の総本山である。

日吉大社は、1623 年、天台宗の高僧・天海（1536-1643）によって創建された。1634 年に再建された新社殿は、家康を祀る栃木県の日光東照宮の原型となった。

拝殿、本殿、その間の連絡通路を一枚の屋根で覆うという特徴を持つ権現造りの神社建築の最も初期のものの一つである。外観は色あせているが、内部の色彩や金箔は鮮やかである。

社殿、門、塀はいずれも重要文化財に指定されている。